

川の情報紙 あめんぼ

四国の川を考える会
(社)四国建設弘済会

SEPTEMBER 2007
Vol.37



〈特集〉川の文学散歩(4)

自伝をはぐくんだ清流

仁淀川

●インテリジェンス

分かりやすい防災用語で情報発信を行います!!

●話題探訪

ドラゴンが競り合うカヌーのメッカ 府中湖(香川県・綾川)

●河・川探索

美と癒しの仙境 鈍川溪谷(愛媛県・蒼社川)

分かりやすい防災用語で情報発信を行います!!

洪水予報が、住民の避難行動に繋がりやすいよう、理解しやすい表現に用語を改善しました。

平成19年4月19日より、河川管理者と気象庁が発表する、洪水予報の発表形式が改善されました。洪水等が発生したときに出される洪水予報等の防災情報は、迅速に伝達されるべきですが、それだけではなく、受け手側の住民、市町村の防災担当者、報道関係の方等に理解され、的確な判断や安全な行動に繋がっていくことが重要です。

このため、国土交通省河川局及び気象庁では、「洪水等に関する防災用語改善検討会」を設置し検討を行ってまいりましたが、昨年6月に検討委員会の提言が「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」としてとりまとめられ、これに基づき洪水予報の発表形式を改善することとしました。

今回の改善の主なポイントとして、前述のように市町村や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように、洪水予報の標題と水位の名称を洪水の危険に応じて洪水の危険度を1～5のレベルに区分しました。

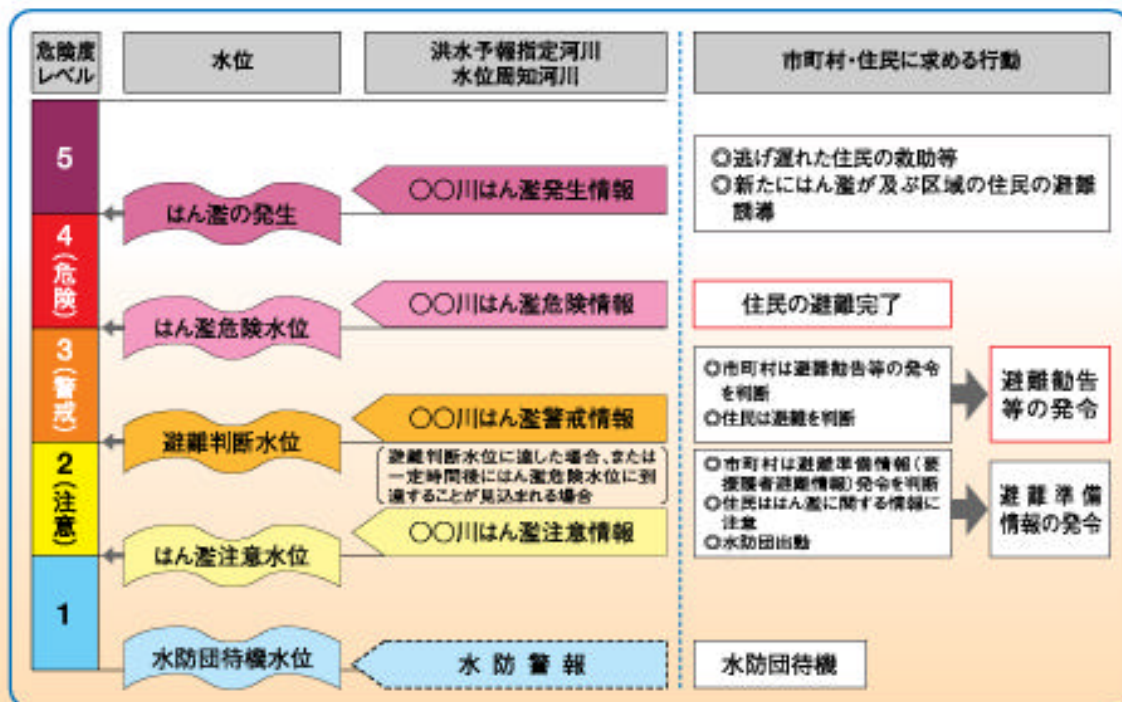
危険レベル毎の標題とそれに対応する水位等は以下のとおりです。

●水位危険度レベル

レベル5	標題:はん濫発生情報	(はん濫の発生)
レベル4	標題:はん濫危険情報	水位名称:はん濫危険水位
レベル3	標題:はん濫警戒情報	水位名称:避難判断水位
レベル2	標題:はん濫注意情報	水位名称:はん濫注意水位
レベル1	(発表は行いません)	水位名称:水防団待機水位

氾濫の危険度につきましても、「注意」「警戒」「危険」の3段階を設定、水位の名称についても、上方の受け手にわかりやすいよう改善しています。

洪水等に関する防災情報改善の概要 (平成19年4月19日から行われている防災情報)



ドラゴンが競り合う カヌーのメツカ



尾崎 健 会長



美しい河面が木々の緑に映える府中湖



清宮公園付近の流れ



カヌー研修センター



清掃活動に励む府中湖カヌークラブの皆さん

高松市塩江町に源を発し、坂出市林田町で瀬戸内海に注ぐ鏡川。二級河川ながら、幹線流路延長約38kmと香川県下最長の河川です。自然豊かな流域は、上流の柏原渓谷や中流にある清宮公園など、景

勝地にも恵まれています。綾歌郡綾川町から坂出市府中町にまたがる流域には「新さぬき百景」に選ばれた府中湖が広がっています。香川県が「カヌー王国」と呼ばれる理由は府中湖にある、といつても

過言ではありません。南北に細長いこの湖では、直線1000mレーンも設置可能で、全国最大規模を誇ります。オリンピックの強化センターやジュニア世界選手権の予選会場としても認定され、瀬戸内の温暖な気候のもと、年間を通して使用可能な日本有数のカヌー競技場となっています。

府中湖は、レクリエーションとしてカヌーを楽しめる場でもありません。地元の人たちが始めた「水のフエスティバルin府中湖」は平成19年で9回目を迎えます。「水のステージ」での出し物や湖上茶会などのイベントを通して、水に親しみ感謝する気持ちを多くの人に広げたい」と実行委員会会長の尾崎健さんは語ります。メーシンイベントは、全国から参加し湖面に覇を競うドラゴンカヌー大会。「参加チームが多すぎて、日暮れまでに表彰式が終わ

らなかつたこともありました。今では出場数を70チーム前後に制限しています」と、尾崎さん。水神とされるドラゴンの形をした全長10mの艇が激しく競り合います。各艇の先頭で打ち鳴らす銅鑼の音、8人のこぎ手と最後尾のかじ取りによる掛け声、湖岸から響く声援。おだんは閑静な府中湖がにぎやかさで包まれるひとときです。

カヌー以外にもボートや釣り、湖周辺の専用道でのウォーキングやサイクリングなど、利用者は増えています。美化に取り組み人たちが増えているのも心強い限りです。府中湖は今日も、水と空をともに楽しむ場所として大切な役割を果たしています。

生涯スポーツとしても楽しめます



生涯スポーツとしても楽しめます

美と癒しの仙境 鈍川溪谷



セルフスタンドの観音湯

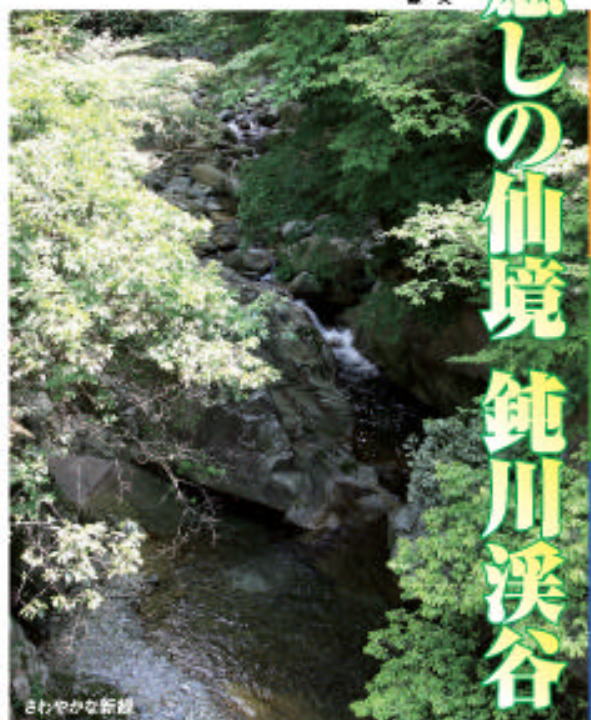


鈍川せせらぎ交流館



橋を渡ると道しるべ

鈍川溪谷は、蒼杜川の支流・木地川の鈍川温泉から上流部の上木地までの約9kmに広がっています。「えひめ自然百選」に選定され、溪谷入口の温泉とともに「伊予の仙境」と呼ばれています。



さわやかな新緑

今治藩の湯治場でもあった由緒ある鈍川温泉は、なめらかで肌ざわりが良く「美人の湯」として知られています。さらに平成元年の掘削によって多量の温泉が湧出ししました。その後完成した日帰り入浴施設「鈍川せせらぎ交流館」や、温泉水を取売する温泉スタンド「観音湯」は、観光客だけでなく地元でも好評です。自宅風呂用にくみに来ていた人の、肌の美しさが泉質の良さを物語っていました。

鈍川温泉付近から上流部に広がる「ふれあいの森」には、キャンプ場やハイキング、パドドウトッチングを楽しめる遊歩道が整備されています。「ふれあいの森」や「水源の森橋」を渡って溪谷の両岸から景観を楽しめるコースです。カシヤカエデなどの自然林も残り、新緑や紅葉の時期はとりわけ見ものです。遊歩道から溪流に下りると、白く丸みを帯びた岩石や砂、川底の美しさを引き立たせている、特有の花こう岩類です。清流のせせらぎや鳥のさえずりなど、こころ癒される音も聞こえてきます。「森林館」では、森の動物のはく製や森で働いていた人々の機材などを見学できます。休館日でもトイレや休憩室、駐車場は利用可能です。



紅葉に引き立つ溪谷美



一休みもできる森林館



白石の滝



新緑に映える白い河床

自伝をはぐくんだ清流

仁淀川

水的美しさは四万十川にも劣らないと言われる仁淀川。西日本最高峰の石鎚山(標高1982m)を源とし、愛媛・高知両県を流れて土佐湾で太平洋に注ぐ流路延長124km、四国第3の長さを持つ清流です。

河口に位置する春野町では戦後、満州から引き上げた宮尾登美子しがばらく滞在。平成12年に出版した自伝的長編小説『仁淀川』に心に残る風景を書き記しています。また、春野町は双子の絵本作家田島征三、征彦兄弟が戦後に少年時代を送ったところで、二人の自伝を原作にした同名の映画『絵の中のぼくの村』が上流の旧吾北村(現いの町)の仁淀川支流を中心に撮影されました。

現代日本を代表する女流作家の名作や国際映画祭で賞を受けた作品に登場する仁淀川。原作の舞台から半世紀たった今日もゆったりと流れています。



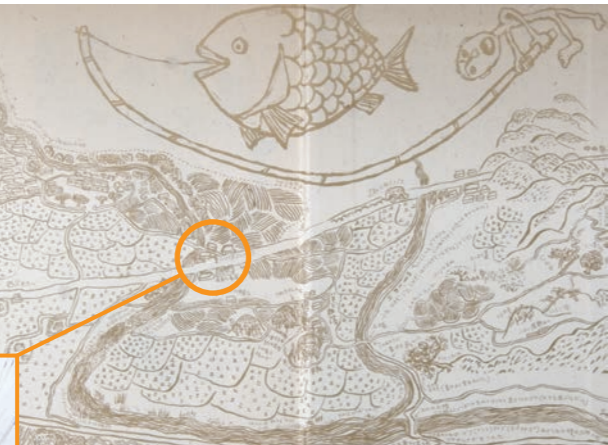
9 行当のきりぬぎ
いの町と春野町の境にある行当のきりぬぎは、吾南用水の中でも難工事だったとされ、野中兼山の遺跡の碑が建っています。宮尾さんが満州から引き上げて一時暮らした場所も近く、作品『仁淀川』には、「ゆるい坂の行当峠を直角に曲がれば、もうそこは…」と書かれています。



10 仁淀川大橋
国道56号に架かるブルーのすっきりした橋です。夏場は水遊びを楽しむ家族連れなどが橋の下に詰めかけてにぎわっています。また、四国霊場第34番札所種間寺から第35番札所清瀬寺への遍路道にもあたり春から秋にかけては多くの杖を持った歩き遍路が仁淀川を渡る姿が見受けられます。



絵の中のぼくの村(くもん出版)
田島征三さんの自伝的エッセー『絵の中のぼくの村』を東陽一監督が映画化。原作の舞台は春野町ですが、戦後の風景を再現するため撮影は旧吾北村を中心に行われました。地元の人々も多数出演したファンタジーで、第46回ベルリン国際映画祭で準グランプリに当たる銀熊賞を受賞しました。映画では、仁淀川支流の美しいシーンが随所に出ています。



1 「絵の中のぼくの村」の面影
原作者の田島征彦・征三兄弟が幼時を過ごした春野町芳原地区は約半世紀を経過して、大きく様変わりしました。当時の絵にあるバス停と道は、今も場所を特定できるものの、その他の部分はまさに絵の中の光景になってしまっています。



2 西津賀才の川原
旧吾北村の中心を流れる上八川川に流れ込む小川川も清流で、川原に砂浜が広がっています。「フリチン」といわれる全裸で泳ぐ子どもたちが女の子にチンチンを見られる幻想的なシーンはここで撮影されました。



監督を泣かせた川 3
東監督が撮影の合間に潜ったところ、少年時代の美しい川風景が広がっており、思わず涙そうになったとエッセーに書いている枝川川です。幼い兄弟が飛ばされた麦わら帽子を拾おうとしておぼろそになったり、伝説の妖怪「しばてん」も登場するシーンはこのあたりで撮影されました。



5 シャクジョウカタシ(ヤブツバキ)
旧吾北村柿敷にある樹高13メートル、直径1メートルの日本一大きいヤブツバキです。樹齢は400〜700年と見られています。カタシは土佐の方言で「ツバキ」のこと。木の形がお坊さんの持つ杓杖に似ているところからこの名があります。映画では、3人の老婆がこの木に登り、子どもたちに声をかけるシーンが感動的です。



7 名越屋の沈下橋
仁淀川本流にかかる沈下橋。中迫渓谷の看板よりやや上流にあり、国道194号から美しい姿がよく見えます。



津賀谷の棚田 6
旧吾北村の国道439号から山道に入ると、標高差200mの間に美しい石積みの棚田が広がっています。棚田は、自然のダムにもなり、仁淀川最大の支流である上八川川の水を涵養しています。近年は、高齢化や過疎化に伴い、植え付けせずに荒れるにまかせる田んぼも増えているようです。



8 八田堰
土佐藩の家老・野中兼山が指揮して、慶安元年(1648)から5年がかりで仁淀川本流に八田堰と左岸に井筋(吾南用水)を築き、吾南平野のかんがい用水や高知城下への物資の輸送路として地域の発展を支えてきました。宮尾登美子さんの作品『仁淀川』の冒頭に、「地響きにも似た水音」、「豊かな水は川上から絶え間なく無尽蔵に来り」、などと活写されている通り、尽きることのない豊かな流れを本流と井筋に分けています。

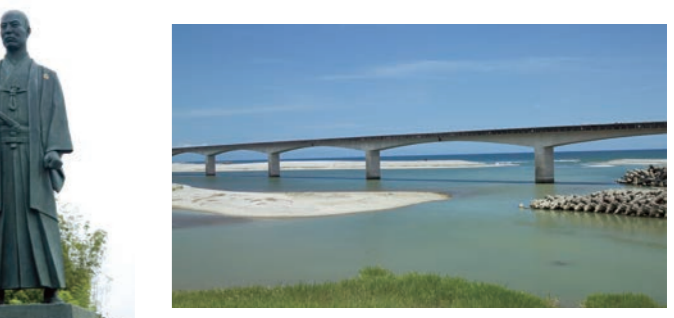


11 新川の落としと春野神社
野中兼山の技術がうかがわれる遺跡。3mほど高いところを流れる吾南用水を滑らかに流すため、25mほどの間に傾斜をつけて水を落ととしています。ここが浦戸湾まで流れる新川の起点で、高知城下に通ぶ物資の中継点となり、付近は昼間から三味線の音が聞こえてくるほどにぎわっていたそうです。野中兼山をまつる春野神社がここに鎮座しています。

12 あじさい街道
八田堰から分水される吾南用水の水路脇に5kmに1万本といわれるアジサイが植わっています。春野町内全体では2〜3万本ともいわれるアジサイがあり、老人会の皆さんたちの世話で増え続けています。毎年6月初旬から中旬にかけてが見ごろで、この時期は用水の水もたっぷり流れ、赤、青、紫、白など色とりどりの花が水面にさわやかに映っています。花の時期には、大勢のあじさいファンやカメラマンが訪れています。



13 春野町立郷土資料館
春野発展の礎を築いた野中兼山のコーナーがあり、八田堰の明治の修理に使われた石と木材の記録や、大正時代の修理の際に使ったノミやハツリを展示しています。宮尾さんの原作の舞台をご案内いただいた徳平品さんは、こちらの学芸員です。



14 野中兼山像
太平洋の土佐湾に面した仁淀川河口に架かる全長1007m、コンクリートの橋です。海岸は四国有数のサーフスポットになっていますが、難易度は高いようです。

15 種間寺
春野町にある四国霊場第34番札所。弘法大師が唐から持ち帰った米、麦、粟、キビ、豆の五穀の種をここにまいたとの言い伝えが残っています。あじさい街道に面しており、花の時期には、歩き遍路はもちろん、車で参拝する人々も思わず足を止め、あじさいに見入っています。

馬路のおばあが国際派女優に〜筒井 二三四さん

原作にはないものの、重要な役どころをこなし、国際映画賞受賞に貢献した筒井二三四さんは、旧吾北村でも山深い馬路地区に暮らしています。75歳で出演したこの映画で人生が変わり、未知の世界に飛び込んで人生を謳歌しているという筒井さんをご自宅に訪ねました。



「この映画が実現したのは、役場の田岡重雄さん(現いの町観光協会事務局長)の働きかけのおかげです。田岡さんから出演の依頼があったとき、私で役に立つだろうか立たんろうかと悩みました。娘や孫に相談したら、またとない機会じゃ。死んでも残るぞよ、と言われ、ほんなら冥土の土産に出ようかと思いました。

おかげで、原作者の田島さん、東監督や女優の原田美枝子さんとも交流が生まれました。田島さんには私の作る番茶を気に入っていただきました。「おばあ茶に会いたければ東京へ出てこい」、と仰ってくれます。東監督には出たがり屋の性格から、ハチキンよりもいとう(もう一つ)多い「クキンのおばあ」と呼んでもらう予定です。

撮影の合間に東監督から「仁淀川はひっそりと守り、本当に川を愛する人に見てもらいたいよ」と言われましたが、その通りだと思います。それと、私は吾北の言葉しか使いませんが、吾北弁は全国に通用するものと誇りを持っています。吾北弁、仁淀川と数々の支流、そして吾北の民俗を守り、後世に伝えていきたいと願っています。

今年、米寿を迎えた筒井さん、まだまだやらなければならないことがいっぱいあります。



ヤマモモ
高知県の県の花になっています。果実は6月に赤紫色に熟し食べごろとなります。宮尾さんの作品『権』の冒頭に、ヤマモモ売りの話が出てきます。



豊かな吾南平野
八田堰や吾南用水を建設した野中兼山の功績は大きく、現在、春野町一帯は「土佐のデンマーク」といわれるほど肥沃な土地が広がっています。キュウリ、メロンやパプリカを中心とした施設園芸は全国的にも知られています。

